

秋田県立秋田工業高等学校 中期ビジョン（5か年計画）
【令和8年度～令和12年度】

I 本校が目指す姿

① スクール・ミッション

一人一人の輝きを重視した学びの下、自らの幸せと社会の発展を共に創造する力を育み、秋田から世界を視野に、新たな時代を切り拓き、地域のよりよい未来を創る技術者を育成する学校

② スクール・ポリシー

（1） グラデュエーション・ポリシー（目指す生徒像）

- 1 探究心をもち社会に出てからも主体的に学び続けようとする生徒
- 2 部活動や諸行事を通じて向上心、継続力、達成感を育み、主体的に社会に関わることができる生徒
- 3 ものづくりコンテストやコンクールの全国大会出場（上位大会）を目指す中で、想像力、創造力、プレゼンテーション力、発信力を身に付けた生徒
- 4 「秋工技能スタンダード」（各学科における、本校の生徒として在学中に取得すべき基礎的な資格）を取得し、さらに高度な資格取得に挑戦し続ける生徒
- 5 英検準2級レベルの英語力をもった生徒

（2） カリキュラム・ポリシー（本校の学び）

- 1 技能習得と資格取得に力点を置いた専門教育による、「ものづくり」の意義を理解し実践と創造を重んずる生徒の育成
- 2 普通教科の学びによる論理的思考力や国際性・社会性等の向上
- 3 ICTの効果的な活用による理解力の向上や学習内容の深化

（3） アドミッション・ポリシー（求める生徒像）

- 1 人物に優れ、何事にも主体的に取り組み社会に貢献しようとする意欲のある生徒
- 2 学業成績が優秀であり、工業分野の学びに強い意欲をもっている生徒
- 3 体育的・文化的活動等において優れた資質・能力を有し、入学後も学業と両立させながら継続して活動する意欲のある生徒



秋工が実践する「3つの価値」

学校の土台:120年を超える伝統と知・徳・体の調和を基盤に、一人一人の輝きを重視するウェルビーイングな学び舎で生徒が「自分は大切にされている」と実感でき、安心して挑戦できる環境

教育の本質:真理を探究し、実践と創造を重んじる工業高校としての専門性と、答えのない問いに挑む実践力と不断の努力の両立

未来への約束:自らの幸せと社会の発展を共に創造し、「自分の幸せが社会の役に立つ」という在り方生き方の自覚と自己を生かす能力の育成

Ⅱ スクール・ポリシーを踏まえた5年間の取組

① 現状と課題

本校は明治37年、工業技術者の養成を目的に創立され、令和6年には120周年を迎えたその長い歴史の中で、県内はもとより、日本や世界の各地において、産業界をはじめとする様々な分野で活躍する3万有余名の同窓生を輩出している。その上で、創立以来変わらぬ「質実剛健」の校訓の下、「秋工生チャレンジ4つの柱」(①ものづくり ②資格取得 ③部活動 ④英語コミュニケーション力)の2つ以上にチャレンジすることで、学業と部活動を高い次元で両立させることを目指している。

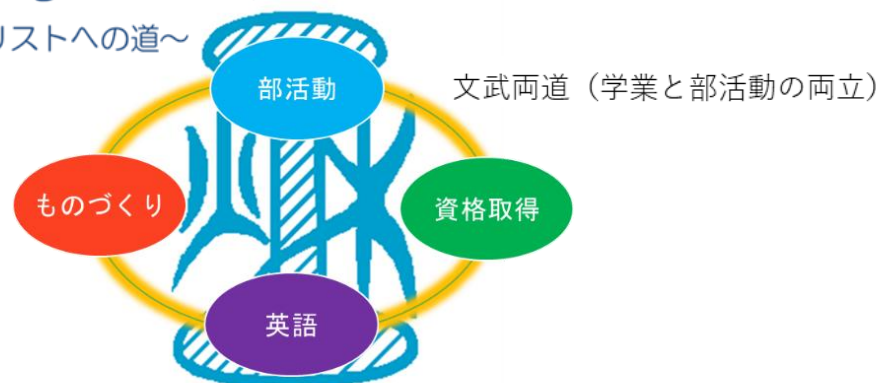
本校の生徒は、専門教科や普通教科の学習で身に付けた知識・技能はもとより、各種の検定によって得た資格、さらには部活動で培った体力と精神力によって、就職・進学ともに高い実績を挙げている。また、全国大会優勝15回のラグビー部、全国高校駅伝出場30回の陸上競技部をはじめ、本県代表として全国大会に出場する部活動等も多く、その活躍は本校関係者のみならず地域の人々や県民に大きな活力と希望を与えている。

令和元年度に落成式が行われた新しい校舎において、その恵まれた環境を十分に活用しながら質の高い教育活動に取り組み、県内はもとより全国の工業高校の中心校として、変化の激しい社会の中で、新たな価値を創造する人材を育成するための工業教育を牽引することが求められている。

その一方で、急激な人口減少に加え、AIの飛躍的な進化やDX、GXといった産業構造の変化に直面する本県において、本校が挑むべき課題は、これまでの伝統や実績を継承しつつも、生徒一人一人の輝きやウェルビーイングを重視し、多様な変化に柔軟に対応できる力をいかに育むかである。単に従来の技術・技能を習得させるだけでなく、新たな技術を主体的かつ創造的に使いこなし、自らの幸せと地域の持続可能な未来を「共に創り出す」高い志を持った技術者の育成に向け、工業教育の更なる充実を図る必要がある。

秋工生Challenge! 4つの柱

～スペシャリストへの道～



② 具体的な取組

(1) 学習指導

- 1 「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善
- 2 「生徒が主役」の授業づくり
- 3 ICT機器の効果的・効率的な活用
- 4 「使える英語」を身に付けさせるためのALTの積極的な活用
- 5 英語を学ぶことの意義や必要性を意識させるためのリスニング英検等の積極的な活用

(2) 生徒指導

- 1 「社会人として求められる規律ある生活習慣」「思いやりの心」「健康、安全、命を守る自己管理能力」の育成に向けた組織的・継続的な指導

(3) 進路指導

- 1 「キャリア・パスポート」の活用
- 2 職業観の育成に向けた企業の現場見学会や各種ガイダンス等の実施
- 3 新たな技術等に触れる機会充実のための地域企業や大学の工学系研究分野との連携

(4) ものづくり

- 1 ものづくりを通じた地域貢献活動
- 2 地域企業等の専門人材の活用

(5) 資格取得

- 1 「秋工技能スタンダード」（各学科における、本校の生徒として在学中に取得すべき基礎的な資格）の習得に向けた実践的・体系的な実習等
- 2 高度な資格取得に向けた地域企業等の専門人材の活用

(6) 部活動

- 1 ラグビー部の全国大会優勝、陸上競技部の駅伝全国大会入賞、硬式野球部の甲子園大会出場をはじめ、各運動部・文化部の全国大会出場に向けた他校との交流や関係機関等との連携

国際舞台で活躍する技術者を育てる秋工

※「秋工技能スタンダード(資格・検定編)」～取得を目指す主な資格等～

系	全ての生徒に、多くの生徒に	生徒の関心によって	さらに深めたい生徒に
共通	計算技術検定2・3級 パソコン利用技術検定2・3級 小型車両系建設機械運転特別教育	技能検定3級 計算技術検定1級 パソコン利用技術検定1級 危険物取扱者乙種各類 各種建設機械技能講習	技能検定2級 危険物取扱者甲種
機械	基礎製図検定 品質管理検定4級 機械製図検定 危険物取扱者丙種	品質管理検定3級 CSWA試験 アーク溶接技能講習 2級ボイラー技士	3次元CAD利用技術者試験
電気・電子	第一種、第二種電気工事士 工事担任者 第二級デジタル通信 情報技術検定2・3級 危険物取扱者丙種	2級電気工事施工管理技士補 第三種電気主任技術者 工事担任者 総合通信 情報技術検定1級	第二種電気主任技術者 電気通信主任技術者 基本情報技術者試験
建築・建設	初級CAD検定 品質管理検定4級 建築CAD検定3級	2級建築施工管理技士補 品質管理検定3級 福祉住環境コーディネーター検定3級 色彩検定3級	建築CAD検定准2級 福祉住環境コーディネーター検定2級 カラーコーディネーター検定2級 インテリアコーディネーター
土木	測量士補 2級土木施工管理技士補	初級CAD検定 基礎製図検定	測量士
化学	危険物取扱者丙種 危険物取扱者乙種4類	2級ボイラー技士	公害防止管理者